

平成 27 年度 メイクアップ ラボ プロジェクト  
メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証

○特殊メイクについて

特殊メイクは分野が広く、特殊メイクだけで 1 分野を形成するが、メイク現場において、ビューティだけでなく、簡単なアグリーメイクを要求されることが多く、特殊メイク導入編として、最低限の知識と技術修得を目的とする。造形等を必要とするより高度なFXメイクは来年度に行う。

ステップ 5: 特殊メイク(傷、打撲、怪我、ゾンビメイク)

開催日:



・理論面

- 1、怪我や傷、打撲などの分類と時系列変化  
FXメイクの基礎である、切傷、擦り傷、はれ、打撲、痣などを演出するにあたり、それらの種類と時間経過による変化について学ぶ。
- 2、血糊の分類
- 3、材料の特性と選択  
ワックス、ラテックス、ゼラチン、シリコーンゴムでの傷等の演出のための材料適性。怪我、傷等の状況により、撮影環境などにより、どの材料を使用するか等の材料選択のための材料特性の知識修得。
- 4、カラーリングや陰影を利用した効果演出の学習。

・技術面

- 1、ペイントでの痣や擦り傷(2次元)  
ペイント(筆やスポンジ)での痣や傷の演習。
- 2、モデリング材料を使用した傷等(3次元)  
ワックス、ラテックス、ゼラチン、シリコーン等のモデリング材料を使用した傷等の演習。基礎的な使い方から応用編までモデリング材を変更しながら修得。
- 3、ゾンビペイント  
ペイント、エアブラシなどを駆使し、2次元および3次元の技法を組み合わせ、ゾンビメイクを演習する。
- 4、次回までの課題(提出物あり)  
自宅練習。ペイントやモデリング材料を使用した作品提出(写真)。